

第19回若手研究発表会が開催されました

第19回若手研究発表会実行委員会

2011年2月3日に寒地土木研究所の講堂で、1993年から実施されている若手研究発表会が開催されました。この発表会は、本研究所で唯一の「研究所全体型」で行われ、各課室チームの垣根を越えた競い合いとコミュニケーションの場となります。よって、各チームを代表する発表者の気合いの入れようは熱く、今年も立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。

発表者は主に、研究所配属1～2年目の若手研究者を対象とし、今年は10チーム1ユニットから12名、さらに、つくば中央研究所から3名、合計15名の発表がありました。また、開催にあたり、各課室チームから18名で構成される実行委員会を立ち上げ、約2ヶ月前から企画準備を行ってきました。

発表者ひとり当たりの持ち時間は25分(発表15分、質疑10分)あり、本発表会に向けた意気込みが感じられる発表ばかりでした。ほとんどの人が与えられた時間を守っており、3～5問の厳しい質疑応答にも真摯に答えていました。また、川村所長をはじめ、つくば中央研究所の瀬尾研究調整監、上田企画部長を含めた17名による審査団が構成され、厳正なる審査が行われました。発表の評価は、研究成果の優劣を競うものではなく、「発表態度」、「わかりやすさ」、「質疑応答の的確さ」とし、プレゼンテーションの基本を問うものとしています。

表彰式で、最優秀賞は地域景観ユニットの福島秀哉研究員、優秀賞は耐寒材料チームの中村拓郎研究員と資源保全チームの大岸讓研究員、特別賞はつくば中央研究所先端技術チームの大槻崇研究員、聴講者から選

- 【第1セッション】**
- (1) 凍結融解による岩石強度劣化の評価法についての研究
..... 防災地質チーム 井上 豊基
 - (2) 凍結防止剤散布作業の効率化に関する研究
..... 寒地機械技術チーム 岸 寛人
 - (3) 火山礫を疎水材に用いた暗渠排水の機能状況
..... 資源保全チーム 大岸 讓
 - (4) 景観機能からみた積雪寒冷地の舗装に関する一考察
..... 地域景観ユニット 福島 秀哉

- 【第2セッション】**
- (5) 津波遡上に伴う氷板の輸送過程に関する水理実験
..... 寒地河川チーム 阿部 孝章
 - (6) 冬期路面管理におけるすべり抵抗値の導入可能性について
..... 寒地交通チーム 切石 亮
 - (7) 構造物の予防保全に向けたRC構造物の破砕方法の検証
..... 寒地構造チーム 宮川 智史

- 【第3セッション】**
- (8) 泥炭地盤上の既設盛土の耐震補強に関する遠心力模型実験
..... 寒地地盤チーム 梶取 真一
 - (9) 側面鋼板接着による鉄筋コンクリート桁のせん断補強効果に関する実験的検討 CAESAR橋梁構造研究グループ 吉田 英二
 - (10) カーブ区間における線形誘導標示板の設置手法について
..... 地域景観ユニット 南 朋恵
 - (11) 地震観測記録を用いた砂防堰堤の耐震性に関する研究
..... つくば火山・土石流チーム 武澤 永純

- 【第4セッション】**
- (12) 吹雪視界情報の提供とその効果 雪氷チーム 川中 敏朗
 - (13) 寒冷地におけるPVA短繊維混入軽量コンクリートのポンプ圧送性
..... 耐寒材料チーム 中村 拓郎
 - (14) 畑地流域からの土砂流出と沈砂池の効果
..... 水利基盤チーム 古榎山 雅之
 - (15) 建設生産におけるICT・RTの活用促進に資する技術成果の形態の検討 つくば先端技術チーム 大槻 崇

ばれる質問賞は寒地地盤チームの江川拓也研究員とつくば中央研究所火山土石流チームの武澤永純研究員が表彰され、熱く長い一日が終わりました。

今回は20回目という節目の年でもあり、この発表会のさらなる飛躍を祈念したいと思います。

(文責：第19回若手研究発表会 実行委員長
寒地地盤チーム 安達 隆征)



会場の様子



最優秀賞を受賞した福島研究員(右側)